

事業所名

こもれび二十四軒

支援プログラム

作成日

年

月

日

法人（事業所）理念	お子様の個性・ペースに合わせ、集団・個別で無理なくゆっくり療育します 明るく楽しい環境・様々な療育活動を通じ、自信とやる気を引き出せるよう取り組みます ご家族の不安や心配と一緒に考え、寄り添い支援します		
支援方針	日々の生活の中で環境や人と関わりながら豊かな感性や表現力を育て、年齢や個人のペースに合わせた運動療育を通して5領域から総合的なアプローチを支援します。また安心できる環境の中で、指導員の寄り添いのもと子ども自身の興味・関心に注目しながらたくさんの経験を積めるよう支援します		
営業時間	9 時 00 分から	18 時 00 分まで	送迎実施の有無 ○あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	心地よく過ごせる環境づくりと基本的な生活習慣の自立支援を行います 補助的に視覚支援を活用し、衛生習慣や身辺自立を促します。通所時の表情や顔色、身体の動きを注意深く観察し必要時には保護者や医療機関と連携するなど迅速に対応します。また農業体験により収穫した作物を調理することで、食欲増進や食に対する興味・関心を広げるアプローチを支援します	
	運動・感覚	子どもたちの発達や好みの感覚に合わせた運動プログラムを支援しています 鉄棒やトランポリン・自転車こぎやケンケンパなどをサーキットに取り入れ、指導員参加型により安心感をもって参加できる取り組みを行います。こどもたちが楽しみながら運動能力を身に付け、バランス感覚や力の調整力、体幹の強化を図ります。また農業体験を通して土に触れ、五感を意識しながら自然に身につく微細運動、道具の操作性向上を目指します	
	認知・行動	音楽療法を取り入れ、自発性や活動性の促進、自己表現や成功体験を通じ、心身の発達を促します 音楽療法士によるピアノ演奏やリズムを取り入れ視覚や聴覚への感覚を促します。またSSTを通して職員の寸劇を見せながら他者の立場に立ち、思いやりの気持ちや自らの気持ちを再確認することで、自己表現力やコミュニケーションスキルの向上を支援します	
	言語 コミュニケーション	朝・帰りの挨拶時の読み聞かせを習慣化し、ことばの習得、ものの名称や機能などを理解しようとする知識を育てます 絵本の内容を自分の経験と結び付け想像を巡らせる中で、ことばを交わす充実感や幸福感を感じることがねらいです。また言語聴覚士による個別支援プログラムでは、鏡やパペットマペットを使い、児童でも楽しくトレーニングに取り組み、舌の筋力増強や発達機関の可動域へのアプローチにつなげて評価します	
	人間関係 社会性	集団活動や地域イベントの参加により、公共の場でのルールや挨拶、外出先でのふるまい方について発達や年齢に応じた個別のプログラムを実施しています 個別スケジュール表や事前の約束により場に合う行動や言動が身に付けられるよう支援します。また危険を伴う際の意思表示や関わりの中での共感や反応など感情の動きも大切にしながら豊かな社会性が育まれる支援を目指して提供します	
家族支援	面談や連絡ノート、オンラインを利用した個別支援を実施しています 子育てに関する困りごとやきょうだい間に対する相談、またレスパイトの時間などの確保等の支援、研修会やイベントの開催を行います	移行支援	進学や進級、転園などライフステージに合わせた支援プログラムを実施しています 各種会議の参加や資料提供、同行訪問による情報共有を行います
地域支援・地域連携	公共施設やイベントの参加、児童会館の利用などを通して地域連携を図ります 通園先や通所先、相談支援事業所や担当保健師との情報共有や連絡調整を行います	職員の質の向上	定期的な合同研修、毎月の事業所内研修により職員の資質向上に努めます 外部研修やzoom研修、事例検討会の開催
主な行事等	・お正月（初詣・お餅つき）・節分・桃の節句・お花見・端午の節句・農業体験・工場見学・収穫祭・獲れたての野菜を使ったカフェ・お誕生日会の開催の他、公共施設へのお出かけや		